

平成 30 年度仙台市障害者ケアマネジメント従事者養成研修について

仙台市では、以下の支援者像を目指し、障害者ケアマネジメント従事者養成研修を実施します。

〈障害者ケアマネジメント従事者養成研修が目指す支援者像〉

「障害者本人が真に求めていることは何か」を的確に捉え、エンパワメントを促進しながら、今ある社会資源を改善したり、不足する社会資源を新たに開発するなどして、障害者本人中心のケアマネジメントを実践することができる。

【仙台市障害者ケアマネジメント従事者養成研修一覧】

研修	対象	目的	到達目標
基礎研修 前期(6月12日) 後期(10月16日)	下記対象機関の 新任職員、相談 業務に初めて従 事した職員	・ケアマネジメントの基本を理解する。 ・障害の枠にとらわれず、障害者本人のニーズ を捉えるアセスメントについて理解を深める。 ・どのような支援者になりたいのかを考える。	① ケアマネジメントの基本的な考え方や支 援手法を理解する。 ②実践に必要な知識・技術を学ぶ。 ③障害者本人のニーズに近づくためのプロセ スを理解する。 ④自身の実践を振り返る事の意義を理解する。 ⑤自身の研修計画が作成できるようになる。
実践研修 前期(11月1日) 後期(12月13日)	下記対象機関の 2年目以降の職 員で、 <u>基礎研修 を受講している こと</u> (再受講可)	・自己覚知を深めネットワークを活用した支援 についての理解を深める。 ・障害者本人のニーズに合った支援を展開する ため、社会資源開発の手法を獲得する。	① 自分自身の価値観を自覚すると共に、支援 者としての自分にどのような強みや弱みがあ るかを理解する。 ② 既存の資源では満たされないニーズに対 して、具体的な支援策を考える。また、その支 援策を提供するためには、どこにどのように働 きかけたら良いのかを理解する。
リーダー研修 5月21日 8月7日 11月27日	H28年度までに 実践研修を受講 し、下記対象機 関の現場リーダ ー	・相談支援事業所等においてリーダーの立場に ある職員が、自身が所属する組織における人材 育成の課題を把握し、必要な行動ができるよう になる。 ・人材育成のひとつの手法であるスーパービジ ョンについて理解を深める。	① 各区自立協や各種事例検討会などで、支援 者の関わりや支援者自身の課題に焦点を合わ せた助言ができるようになる。 ② 事業所内でスーパービジョンが行えるよ うになる。
リーダー研修修 了者フォローア ップ(全3回) 7月24日 11月27日 1月21日	H29年度までの リーダー研修修 了者	・自身が所属する区自立協における人材育成の 課題を把握し、必要な行動ができるようにな る。 ・区自立協の中で社会資源開発に取り組むこ とができるようになる。	① 事業所内外で個人スーパービジョンや集 団スーパービジョンが行えるようになる。 ② 行政機関や他事業所も含めたネットワ ークの構築ができる。 ③ 社会資源開発に向けて具体的な取組みを 行うことができる。
管理者研修 6月12日	下記対象機関の 管理者	・職員の人材育成を通して、サービスの質の向 上を図る。	① 各職員の課題に応じて計画的に研修を受 けさせ、また、助言・指導を行うことができる。 ② 個別支援におけるスーパービジョンの必 要性を理解し、事業所内にスーパービジョン体 制を構築することができる。

※会場はいずれも仙台市障害者総合支援センター（泉区泉中央2-24-1）

【対象機関】

区役所障害高齢課，総合支所保健福祉課，専門相談機関，障害者相談支援事業所，指定相談支援事業所，障害者福祉センター，自閉症児者相談センター，第二自閉症児者相談センター，中途視覚障害者支援センター，障害者就労支援センター，ひきこもり地域支援センター，児童発達支援センター，児童発達支援事業所，仙台市難病サポートセンターなど